



「#(ハッシュタグ)」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。大分県内の農林水産業の中から選りすぐった旬の話題を県拠点からお届けします。

おおいた農業女子プロジェクト交流会を開催しました！

農業女子PJ

令和2年11月19日、豊後大野市の大分県立農業大学校において、「おおいた農業女子プロジェクト交流会」を開催しました。

交流会の第1部では、(株)キセキ九州による「女性が扱いやすい農業機械の実演・講習」を行いました。コンパクトで扱いやすい耕うん機やリモコンで動く草刈り機の実演やアシストスーツの着装など実際に体験しました。11月にしては気温が高く、汗をかきながらのほ場実習でした。



【腰の負担を軽減するアシストスーツ】



【斜面での作業も可能なリモコン草刈機】



【農業女子目線で扱いやすい耕うん機】

第2部では、「職業としての農業～伝えたいこと、聞きたいこと～」というテーマで女性農業者と女子生徒との意見交換を班に分かれてワールド・カフェ方式で行いました。

農業や農大を選択した理由、実際の農家の一日の作業の流れやお金の話など後輩への思いや先輩に聞きたい農業のぶっちゃけ話など、和気あいあいとした雰囲気の中で活発な交流が行われました。



【世代を超えた意見交換】



【参画企業とコラボした商品を展示】



【みなさんのこれからの活躍を期待しています♪】

大分県拠点HP「大分の写真館」をご覧ください。→<http://www.maff.go.jp/j/saigai/ooame/r0207/index.html>

※ 農業女子プロジェクトとは (農林水産省)



「農業女子プロジェクト」は、女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を様々な企業の技術・ノウハウ・アイデアなどと結びつけ、新たな商品やサービス、情報を創造し、社会に広く発信していくためのプロジェクトです。

このプロジェクトを通して、農業内外の多様な企業・団体と連携し、農業で活躍する女性の姿を様々な切り口から情報発信することにより、社会全体での女性農業者の存在感を高め、併せて職業としての農業を選択する若手女性の増加を図ります。

ワコール 農業者が選べる「ワコール」全機種	モンベル 農業者が選べる「モンベル」全機種
<ul style="list-style-type: none"> ◆ひびき腰サポートスリッパ 【2019.10】 ◆農作業快適インナー6種 【2017.4】 	<ul style="list-style-type: none"> ◆フィールドモンペ 【2019.31】 ◆フィールドレイン シヤケット Women's - フィールドレインパンツ Women's 【2018.01】
カネコ総業 女性に優しい農具も提供	井筒農機 女性に優しい農具も提供
<ul style="list-style-type: none"> ◆【Lacuno】シリーズ 【2018.11】 	<ul style="list-style-type: none"> ◆農業女子専用機「プチもあ」 【2017.12】 ◆耕転機「ちよこ子」 【2016.12】 ◆トラクタ「レス子」 【2015.6】

農林水産省では、農業女子プロジェクトを推進しています。興味のある方はURLもしくは右記QRコードからご覧ください。

→<http://www.maff.go.jp/j/keiei/jyosei/noujopi.html>



【プロジェクトで開発された商品】

農業者との意見交換

大分県拠点では「現場と農政を結ぶ」ことを目的に生産者・事業者との意見交換を開催し、ご意見やご要望をお聞きしています。

令和2年11月24日、豊後大野市の堀さんご夫婦と意見交換を行いました。堀さんは兵庫県から移住し、豊後大野市のインキュベーションファーム※で2年間就農研修を受けて就農されました。

現在はピーマンとスイートピーを栽培されており、生産部会の役員や新規就農者の会の会長を任されています。

地域に溶け込むことに努力され、小学校へ食育活動を行うなど積極的に活動されているお二人です。令和2年2月に大分県農業賞・若手経営部門で最優秀賞を受賞されています！



大分県拠点HP「Lively Famers Project in 大分」に掲載→<http://www.maff.go.jp/kyusyu/oita/index.html>

※ インキュベーションファームとは 豊後大野市が実施している就農学校です。大分県内には各地に就農学校やファーマーズスクール、就農準備研修など農業技術取得のための研修制度があります。詳細は大分県のホームページをご覧ください。



象さんのエサプロジェクト 経過報告！

大分県拠点では、「現場と共に解決する」業務の一環として、耕作放棄地の解消等に向けたさとうきびの試験栽培を支援しています。令和2年2月に若手生産者とアフリカンサファリとの栽培契約を結び栽培がスタートしました。



3月の植え付け以降、6月の長雨、7月の豪雨・台風など心配しましたが、順調に3mを超えるほどまで生育しました。9月4日、ほ場で一部刈り取りを行い、アフリカンサファリにてアジアゾウへの試験給餌を行い、5頭の象は、嬉しそうにほんの数分で完食しました！今後はさとうきびの越冬が課題であり、二作目へつながっていくことに期待しています。



速報！象さんに続いて、シマウマたちのエサとなる牧草「チモシー」の栽培プロジェクトも始動します！



第4回 農政懇話会を開催！

大分県拠点では、11月13日に「現場と農政を結ぶ」業務の一環として、マスコミ各社への情報提供と現場意見の反映を目的に「第4回農政懇話会」を開催しました。県拠点から令和2年産水稻予想収穫量調査の概要について情報提供等を行った後、意見交換を行いました。



感染リスクが高まる「5つの場面」に気をつけましょう！

農林水産省は、様々なチャンネルで、感染対策の徹底を呼びかけています。年末、年始は人が集まる機会も多いですが、感染リスクを下げる工夫をして会食を楽しみましょう。



感染リスクが高まる「5つの場面」に注意。

- ・飲食を伴う懇親会
- ・大人数や長時間の飲食
- ・マスクなしでの会話
- ・狭い空間での共同生活
- ・居場所の切り替わり



感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫を実践しよう！

- 飲酒をするなら、①少人数・短時間で ②なるべく普段一緒にいる人と ③適度な酒量で 楽しもう！
 - 会話する時はマスク着用！
 - 箸やコップは使い回さない！
 - 席は斜めに座ろう！
 - ガイドラインを守る店を選ぼう！
- (※) 換気 手指消毒
- 体調が悪い人は参加しない！

農林水産省

※ 「マスクの着用」「3密の回避」「手洗い・消毒」などの基本的な感染症対策を徹底しましょう。